

第2回臨時議員総会開催

陳情要望活動等について報告

去る12月9日、ホテル函館ロイヤルにおいて、第2回臨時議員総会を開催しました。

当日は、前段で第8回常議員会を開催したほか、総会終了後に、引き続き本所議員会の平成27年度定時総会、同じく議員会主催による歳末懇親会も開催されました。

臨時議員総会では、松本会頭挨拶の後、常議員会を経て提出された事項4件（議員・顧問の異動、陳情要望活動、部会・委員会活動、新会員31事業所の加入）について、それぞれ報告が行われました。

また、歳末懇親会（議員会主催）では、工藤市長や青森商工会議所議員会をはじめ、市内各界の方々

を来賓として招き、総勢80名が出席し、恒例となった大抽選会も行われる等、盛会裡に終了しました。



▲開催に先立ち挨拶する松本会頭

■タイ観光客誘致訪問団

タイ国政府観光庁や国営TV局等を訪問

去る11月2日～6日の日程で、片岡副市長、本所久保副会頭、境副会頭ほか関係団体の代表総勢11名が、バンコク等を訪れ、観光プロモーション活動を実施しました。

函館への外国人観光客の入込みについては、定期便就航により台湾からの観光客が順調に推移しているほか、東南アジアの国々からの入込みが大きな伸びを見せている中で、平成24年10月からバンコク—新千歳間の定期便が就航したタイからの観光客誘致は当市の観光施策上、不可欠な課題となっています。

こうした状況をふまえ、昨年度、一昨年度に続き本年度も、積極的な観光客送客の要請活動等を行いました。



▲タイ国営TV局において記念撮影

■北海道新幹線開業に向けたうごき

開業に向け、要望活動や見学会等が行われる

去る11月17日、当所が事務局を所管する北海道新幹線新函館開業対策推進機構による「北海道新幹線運行の充実等に関する要望」をJR北海道に対し実施しました。機構からは西村会長（当所副会頭）、森副会長（当所運輸・交通・港湾部会副部会長）らが参加し、新幹線の割引切符の造成や毎時1本程度の運行確保、新函館北斗駅で円滑な乗換が可能な運行ダイヤの調整、新函館北斗・函館間の在来線へのICカードシステム導入等について要望しました。



▲JR北海道へ要望書を提出する西村会長

12月10日にはJR北海道主催による新函館北斗駅見学会が開催され、当所議員ら33名が参加しました。一行は案内員の説明を受けながら改札内コンコースや同一平面乗換ホーム等を視察、開業が間近に迫っていることを実感していました。



▲新函館北斗駅のホームを見学する本所議員等

12月21日にはJR北海道主催によるはこだてライナー見学会が開催され、当所が事務局を所管する新幹線青森・函館早期開業促進期成会西村会長、川上幹事長、当所新幹線開業対策特別委員会佐藤委員長ら10名が参加しました。

12月25日には新幹線はやぶさ宇都宮停車に関する今後の対応を協議するための懇談会が宇都宮市内で開催され、松本会頭が出席しました。宇都宮・函館両市の市長・会頭・市議会議長が出席した懇談会では、北海道新幹線開業後も引き続きJRに対し宇都宮駅停車要望を継続していくことと、要望と合わせ両市の連携強化を進めることを確認しました。



▲宇都宮市での懇談会の様子

■函館港利用促進協議会 トップセールス

コンテナ貨物船や旅客船関係企業に対し誘致活動

本所松本会頭が副会長を務める函館港利用促進協議会は、去る11月10日～11日、函館港の利用促進を図るため、コンテナ貨物や旅客船関係企業に対し誘致活動を行いました。

コンテナ航路の安定運行やクルーズ客船の更なる寄港を要請するもので、特にクルーズ客船の寄港により、船への水や食材補給はもとより、乗客の市内移動や土産・飲食店、観光施設等市内および周辺地域への大きな経済効果が期待されます。

■函館・北斗・七飯経済団体協議会

新幹線開業時の各種イベント等について意見交換

本所広域連携委員会が主管する函館・北斗・七飯経済団体協議会を去る12月22日、境副会頭をはじめ総勢24名が出席のもと、北斗市商業活性化支援センターにおいて開催しました。

会議では、来たる3月26日の北海道新幹線開業を間近に控え、開業時の各種イベントやスケジュール、また、新函館北斗駅に併設される「北斗市観光交流センター」の施設概要等について説明が行われたほか、これらを踏まえて意見交換も行われ、地域の経済界が行政の垣根を越え、一丸となって当協議会として盛り上げていくことを確認しました。



▲協議会の様子

■ひろさきナイト

クリスマスファンタジー来場者へ弘前市の魅力をPR

去る12月19日、はこだてクリスマスファンタジー会場における弘前市PRイベント「ひろさきナイト」が、葛西弘前市長、永澤弘前商工会議所会頭等が参加し盛大に挙行されました。

今年で5回目を迎えた「ひろさきナイト」では、弘前・青森発の函館ツアー客約400人が来訪し、毎年恒例の巨大アップルパイ約1,400食が函館市民や観光客に振る舞われたほか、津軽三味線奏者の渋谷和生さんによるライブ演奏やご当地アイドル「りんご娘」のステージが開催され、大勢の観客で賑わいました。その他、弘前りんごPRイベントや弘前と函館の工芸団体による「津軽のクラフト×函館のクラフト」も開催されました。

また、函館・弘前の各団体関係者による交流夕食会がみなとの森において開催され、当所からは正副会頭はじめ9名が出席しました。



▲ステージに登壇する両市関係者

■津軽海峡ブランド博

青森市で青函連携商品をPR

津軽海峡ブランド博が去る11月7～8日の日程で、青森産業会館において開催されました。

当イベントは、北海道新幹線開業を見据え、道南と青森県の物産を共同でPRし、全国に発信することを目的に開催されております。今回は、例年同時期に行われている『ぜ～んぶあおもり大農林水産祭』と合同で開催され、津軽海峡圏から集まった133の企業・団体が出店し、2日間で3万6500人が来場しました。

また、会場には青森・函館商工会議所による合同ブースを設け、両会議所の共催事業である『会員事業所パートナーシップ構築懇談会』をきっかけとして生まれた青函連携商品の展示や、北海道新幹線開業のノベルティグッズ配布、函館の物産・観光PRを行いました。



▲今年は大農林水産祭と合同で開催

■函館マラソン大会協賛会開催

大会の円滑な運営を支援

これまで四半世紀にわたり開催されてきた函館ハーフマラソン大会が、北海道新幹線開業を契機に市民待望のフルマラソン大会との同時開催に拡大して、平成27年6月26日、新たに「函館マラソン大会」として生まれ変わることになりました。

近年市民マラソン大会は、健康志向によるランニングブームもあって人気が高く、特に魅力のある観光地のフルマラソン大会においては、国内外のランナーはもとより、その家族等関係者が多く訪れることから、大きな経済効果が期待できるイベントとなっています。

このことから、本所青年部が中心となり、関係機関と共に尽力してきたことが今回実を結び、大会の開催が実現したものです。

しかし、大会の拡大には資金需要がさらに高まることから、本所松本会頭を会長とする函館マラソン大会協賛会が組織され、去る11月16日、本所にて開催の協賛会会議において、北海道・函館市等からの資金に加え、民間からの協賛金募集を通じて、大会の円滑な運営を支援していくことが確認されました。

■当所創立120周年・函館大学開学50周年記念講演会

地域エコノミストの藻谷氏を迎え講演開催

当所創立120周年・函館大学開学50周年記念講演会「函館の新幹線開業後の10年を考える」を去る11月26日、函館大学において開催しました。

講演会は、地域エコノミストの藻谷浩介氏を講師に迎え、全国の市町村の事例を踏まえ、新幹線開業後の函館の予測等について伺いました。なかでも、地域経済や人口を維持するため、観光産業で得た外貨収入を地域で循環させることの必要性、地域で消費するものは地域で生み出すという「地消地産」の考え方や、市民一人ひとりが1年間に消費する額のうち僅か1%を地元消費に回すことで相当の雇用効果が創出できることについて具体例を交え説明し、

企業や市民が意識を持って取り組むことで函館は再興できるとの力強いアドバイスを頂きました。



▲新幹線開業後の函館の予測等について説明する藻谷氏

■おもてなし英会話講座

地元事業者のインバウンド対応力を強化

本所では11月より会員事業所の社員・職員を対象に、おもてなし英会話講座を開催しています。

日本におけるインバウンド（訪日外国人）旅行者が年々増加する中、函館地域でも来函外国人宿泊客数は約35万人（函館市観光部『平成26年度来函観光入込客数』より）を数え、『国際観光都市・函館』におけるインバウンド対策は重要性を増しています。

本所では、「自社に成果を持ち帰り、社内での指導的立場となる社員を養成すること」を目標に、ヒューマンキャンパス高等学校函館学習センターのビル・ポーマン氏を講師に招き、「宿泊」「物販」「料飲」等様々な事業に即した実践的な内容の講義を展開しています。

講座は3月初旬まで全12回にわたって開催されます。



▲おもてなし英会話講座の様子

■第24回優良生徒表彰式・ 2015年全国そろばんコンクール

努力をたたえ優良生徒15名を表彰

第24回日本珠算連盟優良生徒表彰式と2015年全国そろばんコンクールを去る12月6日、83名の選手が参加のもと本所会議室において開催しました。

当日は、コンクールに先立ち第24回日本珠算連盟優良生徒表彰式を行い、1級合格者等成績が優秀だった15名の生徒が優良生徒として表彰を受けました。

その後は、2015年全国そろばんコンクールで予選を勝ち抜いた総合競技部門別優勝者12名による記録会や、種目別競技を行い、参加選手は年内最後となる大会で互いの腕を競い合いました。



▲表彰された優良生徒との記念写真

■青年部

12月例会を開催

12月例会を去る12月11日、齋藤会長はじめメンバー35名が参加し、花びしホテルにおいて開催しました。

例会の講師には、北陸新幹線開業に向けて、おもてなしの心をもって地域全体でお客様を迎えるため「レディー・カガ」を結成した仕掛け人である萬谷浩幸氏（よろづや観光(株)代表取締役）をお迎えし、「レディー・カガのおもてなし～加賀温泉郷の取り組み～」と題したテーマでご講演をいただきました。

萬谷氏は、限られた予算の中で動画を作成し、SNS等を活用したPR方法や、実際にレディー・カガに会える店を掲載したパンフレットを作成する等、観光庁長官表彰を受賞された取り組みについて解説

され、新しいことに挑戦していく姿勢の重要性等について述べられました。

北海道新幹線開業後も継続して函館を盛り上げるべく活動を行っている青年部メンバーにとって有意義な例会となりました。



▲レディー・カガの取り組みについて説明する萬谷氏

■女性会

クリスマスチャリティパーティーを開催

クリスマスチャリティパーティーを去る12月9日、片岡副市長をはじめ多数の来賓を招き、金森ホールにおいて開催しました。

当パーティーは、冬の函館観光の柱である「はこだてクリスマスファンタジー」を盛り上げることを目的に開催され、今年で3回目を迎えました。

当日は、当会会員37名を含む総勢132名が参加し、クリスマスソングの生演奏や抽選会等で盛り上がり、また、パーティーの会費の一部で、はこだてクリスマスファンタジー実行委員会へ運営寄付金を贈呈し、NPO法人ウィメンズネット函館には、同団体で保護を受けている児童へのクリスマスプレゼントとして、サンタブーツのお菓子セットとクリスマスケーキを贈りました。



▲パーティーを楽しむ参加者たち

■銭亀沢地区女性部

「フラワーアレンジメント講習会」および「生け花講習会」の開催

「フラワーアレンジメント講習会」を去る12月3日、「生け花講習会」を去る12月25日、共に銭亀沢支所において、銭亀沢地区女性部メンバーが参加し開催しました。

同講習会はクリスマスおよびお正月を迎えるにあたり店舗を華やかに飾り付けるひとつとして、「フラワーアレンジメント講習会」は「フラワーショップ花泰」の中島姫代美さん、「生け花講習会」は華道池坊教授 関真由子さんに講師をお願いし、毎年開催されています。

当日は、講師の専門的な指導を受け、参加者全員、作品を完成させ、お互いの作品を見ながら懇談し和やかな雰囲気の中終了しました。



▲完成させた生け花とともに記念写真

議員の異動

議員の職務を行う者の変更

・2号議員 株式会社高木組

(旧) 代表取締役社長

黒田 憲治 氏

(新) 代表取締役社長

中田 俊一郎 氏

(平成27年10月5日付)

今後のうごき

【12月21日現在】

1月		
12	火	北海道信用保証協会 個別相談 青年部 第10回正副会長会議、役員会
13	水	経営相談
14	木	女性会 クリスマスチャリティパーティー実行委員会、役員会 第6回 おもてなし英会話講座(全12回)
19	火	銭亀沢支所 平成28年新年交礼会
20	水	金融個別相談
21	木	第7回 おもてなし英会話講座(全12回) 女性会 1月例会(新年会)

22	金	法律相談
27	水	発明相談
28	木	第8回 おもてなし英会話講座(全12回) 青年部 新年交礼会
29	金	みなみ北海道地区観光土産品公正取引協議会 役員会
2月		
3	水	経営相談
4	木	第9回 おもてなし英会話講座(全12回)
9	火	北海道信用保証協会 個別相談

花びしホテルの 総合プロデュース

3つのコンベンションホールを備えており、都市型ホテル同様のバンケットサービスと温泉旅館ならではの和式宴会・温泉会議が楽しめます。

第1コンベンションホール 芙蓉の間 - Fuyou



湯の川温泉最大規模を誇るコンベンションホール
調光設備、音響設備、200インチスクリーン完備

第2コンベンションホール あかしや - Akashiya



スライディングウォールで3分割でき、かつ和室
スタイル・洋室スタイルを選べる

第3コンベンションホール 扇寿の間 - Senjyu



当ホテル最大規模の和室宴会が可能な会場
洋室スタイルも可能



〒042-0932 北海道函館市湯川町1丁目16番18号
TEL:0138-57-0131(代表) / FAX:0138-57-2272
0138-57-7771(予約直通)

Email:sales@hanabishihotel.com
http://www.hanabishihotel.com/
※ご婚礼、ご法要も承ります。

